

伝笑鳩



今月の一笑

「阿呆リズム&パロディ」

- @ 「謝意はもっと大きい声で述べなさい」
- 「私はシャイなもので」
- @ つまらんダジャレを言うのダレジャ

(横浜市 門口 泰宣)

安定剤 会社で一錠 女房の顔見て三錠

綾小路きみまろ

一ノ瀬善秋

シャレクスピアの聞き書き

特別擁護老人ホームにて

元大会社の部長のところへおむつ10枚持っていく。一枚受け取り  
 「残りは総務部へ持って行ってくれ」??  
 「ハイ、一枚の受け取りを下さい」とヘルパーさん  
 「拇印でいいかい」「はい結構です」

元陸軍中尉、一番に食事を出さなければ、お盆をひっくり返す。これは  
 まあ判った。中尉に注意、注意と所内。ヘルパーさんが聞く  
 「今度の任地はどこですか?」「うん、南支だ」  
 これが本当の認知症だなど下を向いて笑う。

東京都/井手裕子

川柳「無駄」

教育費 たっぷりかかけて ニート族  
 蛇足です 言って祝辞が 終わらない  
 逢いに行く 各駅停車 良い時間  
 飽食が 作る肥満と 拒食症  
 引き出物 押入れの中 死蔵品  
 漬物の 重石にしよう 鉄アレー  
 賞味期限 きっちり捨てる 嫁が来る

安藤晴康

アン・トンチンカンの川柳

葬式で 健康談義 花が咲き  
 よおとやあで 空白消える 友があり  
 スーツ着て 鞆から出す まんが本  
 60で まだ若いよと 老人会  
 携帯の ために働く アルバイト  
 若者が 並ぶ場所なら パチンコ屋

題) 「子供たちに残したいものは」

(秀逸) 昔、預かったお年玉

横浜市 阿部 浩

<評>阿部家の子供たちはいまだに言っております。「お年玉ってなーに」

入選 遺言状はない!という自筆メモ

京都市 牟禮 丈夫

入選 男を見分ける力

大田区 高 栄子

佳作 熱血先生の鉄拳

稲城市 藤井 敬三

佳作 一等に当たった宝くじ

川崎市 池田 功

佳作 生活の知恵

市川市 中條 厚

佳作 ユーモア精神とセンス

岩手県 片山 敦夫

佳作 家族の笑顔

仙台市 藤沢 浪子

佳作 美田よりお経のこころ

高知市 高橋 満子

佳作 平和な日本

横浜市 鈴木 びん子

佳作 美しい日本語と青いままの空

板橋区 植竹 団扇

佳作 美しい地球

文京区 稲葉 浅治

佳作 太田胃酸一粒づつ

世田谷区 奥苑 順子

次回の題 「生まれ変わったらなりたいものは」

送付先: 〒157-0071 世田谷区千歳台1-30-14 神山 徹

〆切: 6月10日ハガキ又はFax 03-3484-7123で。秀逸・入選に図書券贈呈

印南博之

大

娛

解

Roma コンクラーベ二日間でローマ法王決まる  
「ふーん、ローマは一日にして成らずか」

China 警官デモ隊の投石を阻止せず  
「13億人の圧力にも手も足も出なかった」

日本料理店 暴徒に襲われる  
「日本憎けりやすき焼屋まで肉い」

Japan 私鉄の女性専用車好評  
「次は痴漢専用車を導入したい」

藤井敬三

ユーモア川柳「ああ、コーヒー」

ブラックを 飲んでも眠い 講演会  
ドリップをも 三回目には アメリカン  
珈琲と 書けば香りが 深くなる  
一杯で 半日ねばった ジャズ喫茶  
おじさんの 夜明けのコーヒー もう古い  
CMの ほうが美味そう 缶コーヒー  
アイスコーヒを 冷コーと呼ぶ 関西人  
ハリウッド 映画の刑事 コーヒー党  
コーヒーと 演歌なぜか 似合わない

高木正明

コミックどどいつかわら版

Φ歴史教育 たてつきながら 反日教育 してる国  
Φ靖国参りも 愛国無罪 開き直るか 小泉さん  
Φ北京五輪に 石投げ競争 的は日の丸 やりかねず  
Φズサンな社保庁 汚職も絶えず 金品贈与 接待病  
Φカラの役所に 残業手当 五時で閉庁 大阪市  
Φ式で君が代 日の丸見れば 立つか座るか 師の迷い  
Φ効かぬ番犬 大津の神社 狛犬四対 逃げたまま  
Φ部品落として うっかり飛行 非行続ける 日航機  
Φアメリカ便には ライター禁止 テロの恐怖が 火付け役  
Φガンに効くよと 売り付け被害 リスク大きい アガリスク  
Φ女性専用 車両に中では 化粧・ケイタイ 取り込み中  
Φ福知山線 安全軽視 ルール無視した 大惨事  
Φ聖をかたって 性もて遊ぶ 宗教かたった 醜狂師

東京都／稲葉浅治

川柳「鼻の下」

鼻の下 長くするには 金不足  
鼻の下 長さ気になる 初見合い  
花粉症 いつになっても 乾かない  
結び目を ほどいてみたい 夏祭り

# 黄 字 字 金 遊 遊 漢 在?

平井幸雄

今年も、十連休のゴールデンウィークがはじまる。自由な時間がたっぷり、自由自在に遊べる。毎日が日曜日の私には関係ないが、それでも新緑の季節が心地よく、行楽地がにぎわい、心が躍る。「ヒライ信」の紙面でも自由時間を自由自在に言葉や漢字で遊んでみたい。

## 五感で感ずる感字?

|                       |  |                          |                       |                 |
|-----------------------|--|--------------------------|-----------------------|-----------------|
| <b>視</b>              | <b>鼻</b>                                 | <b>舌</b>                 | <b>言</b>              | <b>耳</b>        |
| 必ず見ろ?                 | 強烈な臭い?                                   | 三枚舌?<br>甘辛酸を舐める?         | 武士に二言はない?<br>言うことは言う? | 言うことは右耳<br>で聞く? |
| 【ベツ】<br>覆われて互いに見えないの意 | 【キュウ】<br>嗅ぐの意・嗅の本字<br>臭いは鼻で嗅ぐ、口では嗅がない・・・ | 【カ】<br>たばかる<br>言をひるがえすの意 | 【ケイ】<br>争い言うの意        | 【ジ】<br>誘うの意     |

## 誤変換詩?

|   |   |
|---|---|
| <p style="text-align: center;"><b>春夏秋冬</b></p> <p>青春時代は<br/>春か遠く(誤)<br/>遥か遠く(正)</p> <p>あの夏の思い出が<br/>夏かしい(誤)<br/>懐かしい(正)</p> <p>秋の味覚はいくら食べても<br/>秋ない(誤)<br/>飽きない(正)</p> <p>寒い冬は寒くて<br/>冬かいだ(誤)<br/>不愉快だ(正)</p> | <p style="text-align: center;"><b>春は眠いから……</b></p> <p>春眠不覚暁 処処聞啼蛙<br/>蛇来風雨声 命落知多少</p> <p>冬眠から目が覚めた蛙<br/>春眠暁を覚えず<br/>ウトウト居眠り、<br/>蛇に飲まれて永眠<br/>(溺死したおたま弱死)</p> |
|---|---|

岡野殷子 こじ付け問答 (問答無用)

- ①時節柄あちこちで水を張り田植えの準備。ところで田に火をつけると水が蒸発して畑となる。
- ②竹を頭に被った犬が滑稽だったので皆が笑った。
- ③両手のうち、口があるのは右手。
- ④2 X店=売店
- ⑤商売は昼半分で結構 繁盛
- ⑥÷ 2 =ワルツ
- ⑦新入社員で「これは俺の天職だ」と言った奴が一ヶ月足らずで転職してしまった。
- ⑧寺が言うと詩になる

中條 厚 小話つき川柳：学び

つぼ習い 押して痛める ひざの節

(ここを強く押せて書いてあるのよ。余計痛くなっちゃった。素人じゃ治らないんじゃないの。つぼの本買わされたのよ。それで治ったら医者あがったりになっちゃうじゃない)

ほめ方を 妻に教わり 人妻に

(ずばりと言わないでまずほめるのよ。そうか、注意するところが先立つもんだから。それは逆よ、女はほめ言葉を聞きたいのよ。もしもし奥さん、何と美しいんでしょう、ハンカチ落としましたよ。気持ち悪い人、ハンカチなんか要らない、早く逃げなきゃ)

死に方を 学んだ術で 世を渡り

(最後まで旺盛に生きることだ。それでマラソンしてるのかい。本も毎日読む。心身共に鍛えるわけだ。そうすればコロリといける。そう言っていたのにぼけたそう。無理してたんじゃないの。地が出たということか)

マニュアルに なければ聞かぬ 上司の言

(そこはこうしないと。マニュアルに書いてありませんよ。でもこうした方が早いんだ。どうしてそう書いてないんですか。でもこうしたまえ。マニュアル通りにしろと書いてありますよ。融通がきかない男だな、死ぬ時にもマニュアル使うのかい。はい、その方が楽ですから)

レシピ見て 手順通りで 味足らず

(どう。味がね。書いてある通りにやったのよ。味までは書いてないだろう。おいしいと書いてあったわよ)

佐藤忠恕

○ ユーモア四文字熟語

- ① ( ) 心 ( ) 心 (以心伝心) ② ( ) 口 ( ) 音 (異口同音)
- ③ ( ) 風 ( ) 堂 (威风堂々) ④ ( ) 味 ( ) 長 (意味深長)
- ⑤ ( ) 端 ( ) 説 (異端邪説) ⑥ ( ) 気 ( ) 合 (意气投合)

- ① (医) 心 (悪) 心  
最近の医者には医は仁術と考えぬ奴も
- ② (陰) 口 (本) 音  
陰口って意外と本質を突いてるんだ
- ③ (今) 風 (食) 堂  
今風なのに食堂ってつけるか
- ④ (趣) 味 (延) 長  
趣味が満ちて商売に
- ⑤ (一) 端 (解) 説  
あいつももう一人前だな
- ⑥ (格) 気 (連) 合  
新しい彼女ができて、奥さんと2号が  
タッグ組んだって

- (女) 心 (用) 心  
女心と秋の空。変わりやすいやね
- (口) 口 (発) 音  
皆が一斉に発音しても分らないよ
- (古) 風 (母) 堂  
どうしてもご母堂様って呼びたくなるね
- (地) 味 (課) 長  
何にも言わないからそう呼ばれるのよ
- (下) 端 (伝) 説  
あいつは伝説的な下っ端さ
- (人) 気 (具) 合  
何時まで経っても人気を気にするな



Ω あっちへ行ったり こっちへ行ったり Ω

- ◆犬散歩 鼻をならして 走り出す あっちへ行ったり こっちへ行ったり
- ◆キャバレーの 人気ホステス 少しいて あっちへ行ったり こっちへ行ったり
- ◆ 運転が 下手な電車で 立つ人は あっちへ行ったり こっちへ行ったり
- ◆ 窓口で たらいまわしに あったなら あっちへ行ったり こっちへ行ったり

Ω ありうる話 いつも縁なし Ω

- ◆ 混浴の 温泉行けば 女だけ ありうる話 いつも縁なし
- ◆ 歩いてた 百万円が 落ちていた ありうる話 いつも縁なし
- ◆ 美女の娘と 一杯飲んだ 一夜中 ありうる話 いつも縁なし
- ◆ 年下の あいつがついに 役員に ありうる話 いつも縁なし

奥村篤史 圓之助改め小圓朝襲名昇進笑進

4月23日(土) アッシー君のもう一つの芸名「柳屋ぎんざ」の名付け親、三遊亭圓之助の真打昇進・四代目小圓朝襲名披露に行きました。会場の東京會館は約500名が出席。大師匠圓樂初めおなじみの笑点のメンバー、師匠圓橋はじめ一門、元横綱北の海、名司会者玉置宏など多彩。会場に入ると鏡味小仙社中の太神楽囃しと東大落語研究会の垂れ幕やのぼりが私たちを迎える。あれっ！東大出?! トザイトザイとは言っていたがトーダイとは聞いていない。実は「♪オイラ東大の落研守は先代小圓朝落語を指導した笑われる人になれ指導した主導した(♪灯台守で)」。そんな縁だそうだ。

さて、江戸は木場の先達で真打登場! 「◎ 会場に木遣りの唄がよく似合う主催者気をやりお客は金やり?」実は「◎ ご祝儀の相場いくらか先達いない行くか行かぬか迷い道」だったので、真打披露は初めての経験、洒落日記にでもしようかと参加を決意。「◎ 笑われる人を目指してご祝儀は 年金より出すたったウン万」この日一番受けたのは場違いの最高裁判所の後援会?でした。実は「◎ 民間の陪審員制度のキャラクターに小圓朝をと裁判中いかなる判決無罪有罪」。この後、最高裁判所の中でも真打公演を企画、聞くには傍聴券が必要とのことです。二時間半の楽しい経験でした。「◎ お土産はお酒・風呂敷・手拭い・扇子 真打公演ちらしズッシリ」

圓之助さんとの縁之助は8年前、中央区の教養講座「隠し芸・南京玉すだれと落語」で5日間落語の師匠をしてくれ、柳屋ぎんざの芸名を名付けてくれました。私は自分でつけた「柳屋ぎんざ」を認めてもらい「◎あーあ、あこがれの柳屋ぎんざ(♪あこがれのワイ航路で)。ジョークサロンの佐藤忠恕さん、奥山わかさんも同じメンバーでした。圓之助さんは精進して今の地位を獲得されたのです。

「◎ 圓朝は越えられぬ縁 小圓朝(越えぬチョウ)」 「◎ 圓之助焦心せず昇進笑心 醜名ならざる秀名醜名」 「◎ 真打になってますます芸磨き 目指せ心の心打ち芯打ち」

\* 「彼女って100キロだぜ」「嘘！」

「新車をぶっ飛ばすんだ」

\* 「貴方診てもらったら」「ちょっとした胃炎さ」「胃カタル（語る）でしょう」

☆首相がダンス

踊り場にはこと欠きません  
日本の景気

☆辞書にない文字

ナポレオン 不可能  
堀江社長 想定外

☆外出中のあいさつ

マスクに名前を入れています  
花粉症患者

☆行司

外国人を採用します  
相撲協会

☆好きな古典

「ものぐさ太郎」  
日本の高校生

☆有害外来魚駆除

ニホンゴ ワカリマセーン  
ブラックバス

☆懐柔策

よん様の銅像を建てた  
独島

☆さすまた道連盟発足

初代総裁になりたい  
逃げた警官

1. 利き酒コンクールで最終選考に飲みネートされた

2. 日日是抗日 中国のデモ動員

3. ♪僕には僕の夢がある フジにはフジに意地がある

和解二人の思惑は ニッポン放送株買戻し

和解和解 和解二人の手打ち式♪ (若い二人)

4. 先代正蔵の肖像が見守ってくれる 襲名披露興行

5. ♪罵声うるさい ベランダの ラジカセのスピーカーがなりたてる

向かいのおばちゃん フトン叩いてチャンチキ騒ぎ

引越し強制 許せなや♪ (チャンチキおけさ)

6. 長期に亘って粉飾決算のカネムボウ

7. JALパックに代わり JALパニック売出し中

8. 野中さんから“友よ”と言われてもちょっと 三洋電機社員

<4月例会出席者>

4月27日開催

阿部 浩・安藤晴康・石井志津夫・一ノ瀬善秋・印南博之・奥村篤史・佐藤忠恕・曾田英夫  
高木正明・中條 厚・平井幸雄・藤井敬三・門口泰宣

今月から開催場所が元の内神田社会教育会館に戻りました。又二次会も「多聞」で開きました。「多聞」も内部の改装を行い、座敷タイプから下足でテーブルという設えになりました。主はタモンカモンと歓迎してくれました。

<変集鳥だより>

- # 1. 前号でユーモア共和国と「シニア大楽」共催の「ユーモアスピーチの会」が支部の開設を募集している記事を掲載しましたが、先月大宮で第三番目の支部が発足しました。その直前に一ノ瀬大統領が横浜の路上で怪我をされる事故がありながら、大宮支部発足の会場に足を運ばれて大きな影響がないことがわかりホッとしました。ますますの発展をお祈りします。
- # 2. 同人の中條厚さんは、日頃こつこつと、落語の台本を創作しておられますが、例会の席上その作品を配布していただきました。なかなか手馴れたものであり、今回披露されたのは「タクシー運転手」「くすり」「夫婦別姓」の三題です。「タクシー運転手」は勉強嫌いの息子が親父と同じタクシー運転手を目指しているのを、運転手も学問の素養がいると息子にあきらめさせようとする親子の会話。「くすり」は色々な病気を抱える年寄りが、毎日飲む違う薬が、どういう原理でそれぞれの薬が目的の器官に運ばれて効くのかとお医者さんとお話するトンチンカンな会話。「夫婦別姓」は近所に沢山夫婦別姓を名乗る家が増え、大混乱する奇妙奇天烈なお話です。

「伝笑鳩」郵送希望者の切手（1年分80円X15枚）等は下記の住所にお送り下さい。

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西5-34-26 <sup>はぐろ</sup> 門口 <sup>たのぶ</sup> 泰宣 Tel/Fax 045-773-6074

U.R.L. : <http://homepage3.nifty.com/tsukude/tjoke> /Eメール : [cmonchan@r8.dion.ne.jp](mailto:cmonchan@r8.dion.ne.jp)

6月度例会：6月22日（水）午後6時半～内神田社会教育会館7F第一研修室

伝笑鳩No.188

発行： 2005.5.25  
変集鳥： 門口泰宣  
変集協力： 曾田英夫/石井志津夫  
高木正明/藤井敬三  
平井幸雄/佐藤忠恕  
中條 厚/印南博之  
奥村篤史/一ノ瀬善秋  
岡野殷子/安藤晴康  
印刷カット： 天野秀雄  
発行所： 同巢会ジョークサロン

切手・カンパ受領一覧（敬称略）

2005.4.17~2005.5.14



帯広市/黒田 弘 大阪市/大森史郎  
京都市/広川友雄 京都府 藤原義明  
甲府市/市原 実 岩手県/片山敦夫  
町田市/青木 孝 横浜市/鈴木びん子  
東京都/山田ちづ子・柴内芳枝